

■「環境公害セミナー」開催実績一覧■

回数	開催年月日	講演題名	講師(所属)
1	1992/2/29	酸性雨を考えるつどい ①中国の酸性雨の現状と民間技術協力 ②わたしたちの文化財と環境 －大気汚染による文化財への影響－	①菱田 一雄 (菱田環境計画事務所所長) ②権上 かおる (アグネ技術センター)
2	1993/2/14	いま 足元から考える地球環境 ①地球環境問題の現状とその視点 ②環境教育 (意識の変革) は身体を動かして	①増田 善信 (元気象研究所研究室長) ②本谷 勲 (東京農工大学名誉教授)
3	1993/9/18	地球環境に何が起きているのか	中村 梧郎 (フリー・フォトジャーナリスト)
4	1994/6/18	車社会を考え直す	柴田 徳衛 (東京経済大学教授)
5	1995/6/3	地球を蝕む酸性雨	石 弘之 (国連環境担当特別顧問)
6	1996/6/15	水源林保全と酸性雨	宮下 正次 (「森林 (やま) の会」事務局長)
7	1997/6/7	ディーゼル排気微粒子 (DEP) の健康影響	嵯峨井 勝 (国立環境研究所)
8	1998/6/13	自動車排ガス汚染対策の欠陥	水谷 洋一 (静岡大学人文学部助教授)
9	1999/6/19	ダイオキシン問題の現状と対策	本間 慎 (フェリス女学院大学教授)
10	2000/9/9	東海村臨界事故と原子力発電	館野 淳 (中央大学教授)
11	2001/9/29	広がる市街地土壌・地下水汚染	畑 明郎 (大阪市立大学大学院経営学研究科教授)
12	2003/1/25	食の安全性を保つために	
		①食の安全性を保つために－環境・食料問題とのかかわりで考える ②食の安全性を保つために－消費者の立場から	①岩田 進午 (元茨城大学教授) ②清水 鳩子 (主婦連 副会長)
13	2004/1/24	いま、食の安全・栄養・食味は？	岩田 進午 (元茨城大学教授)
14	2005/3/12	大気汚染の現状と健康問題を考える －きれいな空気を子供たちへ－	
		①大気汚染の疫学調査と問題点 ②東京の「未認定」患者に対する被害実態調査から	①福富 和夫 (元国立公衆衛生院 保健統計学部長) ②除本 理史 (東京経済大学 経済学部助教授)
15	2005/7/16	地球温暖化防止『京都議定書』発効	寺西 俊一 (一橋大学大学院経済学研究科教授)
16	2006/7/22	アスベスト被害の救済をめぐる	村松 昭夫 (全国公害弁護団連絡会議副幹事長)
17	2007/10/13	水俣・・・胎児との約束	板井八重子 (くすのきクリニック院長 熊本民医連会長)
18	2008/10/4	食の安全と農業・農地問題	石井 啓雄 (駒沢大学名誉教授)
19	2009/10/3	地球温暖化問題と自然エネルギー	和田 武 (日本環境学会会長 元立命館大学教授)
20	2010/9/18	安心して吸えるきれいな空気を求めて	
		①ディーゼル排ガスに含まれるナノ粒子の健康影響 ②大気汚染被害者の新たな救済制度を目指して	①武田 健 (東京理科大学総合研究機構) ②原 希世巳 (渋谷共同法律事務所弁護士)
21	2011/7/16	T P P と国民生活・経済・農業	田代 洋一 (大妻女子大学社会情報学部教授)
22	2012/9/1	脱原発・再生可能エネルギー中心の社会へ	和田 武 (日本環境学会会長)
23	2013/9/28	防災・減災と道路・公共事業	塩崎 賢明 (立命館大学政策科学部教授)
24	2014/9/6	東電福島第一原発災害と市民の目	牛山 積 (早稲田大学名誉教授・元副総長)
25	2015/7/4	日本陸軍と秘密戦：戦争と環境破壊に触れて	山田 朗 (明治大学文学部日本史学専攻教授)
26	2016/9/10	再生可能エネルギーで拓く未来と抑える被害	佐川 清隆 (東京大学特任研究員)
27	2017/7/22	原発事故被害の現状と 千葉・生業訴訟の連弾判決の意義を考える	中島 孝 (「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟原告団長)
28	2018/7/7	パリ協定で未来を変える。	桃井 貴子 (NPO法人気候ネットワーク 東京事務所 所長)
29	2019/9/14	ぜん息等医療費救済制度の実現に向けて	原 希世巳 (渋谷共同法律事務所弁護士)
30	2021/2/28	人類の未来を決める“パリ協定”の実行	佐川 清隆 (名古屋大学特任助教)



(第20回セミナー)



(第26回セミナー)



(第27回セミナー)